

令和6年度 稲沢市地域自立支援協議会 第1回地域生活支援部会 議事要旨

【日 時】 令和6年5月23日(木) 午後2時～午後3時30分

【場 所】 稲沢市役所 第1分庁舎 2階 第3会議室

【出席者】 地域生活支援部会委員6名 事務局6名

【欠席者】 なし

【議 事】

あいさつ

1 協議事項

(1)地域生活支援拠点の充実

・評価結果における不足部分の充実 事務局(案)について説明

1)令和5年度の評価について

部会長 令和5年度分評価(案)について、なにか意見はあるか。(異議なし)

令和5年度分評価は事務局(案)どおりとする。

部会長 部会の任期が2年で終わってしまうため、次期委員の人にとっては評価の詳しい理由が分からないのではないかと。評価の理由を残したほうが、後々分かりやすいのではないかと思う。検証・検討シートについてはこの案でよいか。(異議なし)

事務局 例年、年度初めの部会で、前年度の取組みを踏まえた評価をしている。ただ、部会長の発言通り、委員の任期が2年で変わってしまうことを考慮し、その年度分の評価を同一年度の最後の部会で実施してはどうか。委員改選にとらわれず評価できると考えられる。今日、この方針でいいということであれば、今年度3回目の部会で評価することとなり、来年度以降は、この形式ですすめる。

部会長 同一年度の最後の部会で評価するメリットとして、拠点ネットワーク会議や事業所連絡会で報告することができる。この方針ですすめても良いか。(異議なし)

2)令和6年度の取り組みについて 事務局(案)について説明

部会長 あらかるとの記載方法について、事務局で何か案はあるか。

事務局 記載項目が増えるため、サイズをA4にするのも一つの手段だと思う。あらかるとは自立支援協議会の発行物であるため、意見をいただきたい。

部会長 市内福祉サービス事業所のマップをあらかるとに載せるとすれば、A3サイズで折り込みとなり、あらかると自体もA5サイズからA4サイズに変えると良い。サイズを大きくすることで、掲載する情報も増やすことができる。市で出しているサポートブックや福祉ガイドブックとサイズを合わせることもできる。

委員A サイズを大きくすることによって、書ききれなかった施設のことを載せることができ、地図を載せることによって分かりやすくなるので良いことだと思う。

委員B 地図は、サイズによって探しきれないことがあるため、A3であれば見やすいと思

う。書き方が統一化されているので見やすいが、頻繁に書き換えが必要となれば負担も大きい。ちなみに、あらかじめには稲沢市内の全事業所が載っているのか。

事務局 事業所の名前の掲載はしているが、掲載の希望がなく、原稿の提出がない事業所については、事業所単独のページはない。

委員C 送迎の「あり・なし」「範囲」を追加してはどうか。

部会長 体験費用の記載があると説明しやすい。今日出た意見も含めて、あらかじめを頻繁に使う相談支援専門員に意見をきいてもらえると良い。

## (2) 災害時の対応等に関すること

### ・関係機関の連携強化、意識統一等 事務局から説明

部会長 物足りなかったという意見があったが、現状の把握という今回のテーマは達成できたと思う。また、事業所単独で対応するのは相当難しいため、どうしたらよいか分からないという意見があり、事業所の不安を把握でき良かった。

委員B 研修会に参加出来なかったが、アンケートで皆さんの意見を見ると不安なんだなということが分かった。自分たちに何ができるか考える必要がある。

部会長 防災安全課の研修で、自助、共助、公助のうち自助が大切という話があった。医療的ケア児支援ネットワーク会議でも災害時の電源の確保について心配の声がある。稲沢市としてバッテリーの補助はあるのか。

事務局 他市町村では日常生活用具の枠組みの中で、非常用バッテリーを加えているところもあるが、稲沢市はない。

部会長 必要なものだと思うので、来月行われる医療的ケア児支援ネットワーク会議での意見も取り入れながら、この部会から提案をしていきたい。

委員A 精神障害者にとっては、災害時の薬の確保も大きな課題だ。

部会長 一宮市ではH28作成の「障害のあるかたへの支援」という冊子などを作成し、災害時に備えている。

委員B 以前、事業所で3日分の薬やコミュニケーションの注意点、緊急連絡先などが入ったお助けポーチを作った。利用者には毎日のカバンの中に入れてもらっている。1事業所でやっていたことなので限界があったかもしれないが、大きな規模で実施できるとより良いものが出来るかもしれない。

部会長 そういったものをこの部会で検討していけるといい。

事務局 以前、他市にある生活介護事業所に訪問した際、ホワイトボードの当日の利用者名横に、災害時や緊急時に支援を担当するスタッフが分かるように記されており、毎日災害意識を持って朝礼等をやっていると感じた。利用者にもスタッフにも分かりやすい。

部会長 災害時の工夫をしている事業所の話聞くだけでも勉強になると思う。

事務局 他市や他事業所の情報を参考にしながら、まずは自助の強化を促していくように

するという方針で良いか。

部会長 他の事業所連絡会などで意見を聞いてもらってもいいのではないか。

部会の大きな柱としては、自助の部分で何が必要か、協議していくこととする。

## 2 その他

- ・防災プロジェクト発信研修会（6/17）の案内 事務局から説明